

「なんでもできる会社」 「日本の木を世界へ」を 合言葉に飛躍目指す

国産材を使った木製品製造販売で頭角を現してきた、高取町市尾にあるダイワ産業株式会社は、令和2(2020)年度に県が実施した『奈良県の宝物ものづくり』・体験部門で、同社のH・U・Iの形をした新しい木製知育玩具(松の積み木)「HUI(フーイ)」がグランプリに。次いで「にっぽんの宝物」JAPAN大会では見事、準グランプリに選ばれた。中西専務は「なんでもできる会社」「日本の木を世界へ」を合言葉に飛躍を目指す。

Made
in
奈良

高取町 ダイワ産業株式会社

ダイワ産業株式会社 専務取締役
中西 正智さん

同社の創業は昭和45(1970)年9月。地場産業の配置業の箱づくりからのスタートだったが、創業家が薬屋の道を選んだため、全株式を引き取って10年前に中西正幸さん(71)が代表取締役社長に就任した。仕入れや流通に強い社長と、デザイン、販路開拓に長ける長男で専務取締役の中西正智さん(41)とで重要な担当を分けている。

薬箱から桶製品へ。家庭用として大きさもさまざまだが、普通サイズで約3000円〜4000円。機械化されたこともあり、これまで400万個は売ってきたという優れたもの。今は家にあるかないかの時代だが、以前は家庭に寿司桶が何個もあったという。

「二つは木曽産のサワラを使っていきます。お寿司の桶としては最高の素材で、変形が少ない木です。松科の木になるのですが、松よりも強い抗菌、防カビ性を持っています。同じぐらいの抗菌性、防カビ性を持っているといえば、ヒバという木があります。もう一つの特徴は、香りが食の邪魔をしない。これは結構重要で、松でお寿司の桶を作ると匂いがきつすぎて、ご飯がおいしくない」と中西専務。

その時に一方でやりだしたのがまな板。まな板は基本的に吉野を中心とした紀伊山地一帯の松を使用する。「後発メーカーだったので、それを家庭用でどうやって売ろうかと。何か価値を付けて価格で勝負しようかと。立つまな板。洗ったときに立つ。結構、どの場所に置こうかということになるの」と話す。

側面をコーティングすることで、黒ずみを抑える効果がある。一番の特徴は高温の食洗器に入れることも可能など。材料の選別から加工方法などの技術面を結集させ、強い乾燥で木材が縮んで割れたり、変形したりということが起こらないという。

「本当に売れたしたのはこの10年ぐらい。うちは2000円、3000円ぐらいの商品に比べると。今は月に1万5000枚ぐらい。いろんなタイプのまな板があるんです。1・3・5・7・9のものもあります。圧倒的に売れているのは、この立てることができる薄型『食洗器対応の松まな板』です」と自信をのぞかせる。

寿司桶、まな板とて、次は依頼品。SDGsのピンバ



新しい松の積み木「HUI(フーイ)」

新しい松の積み木「HUI」に照準 価値のあるオリジナル製品創出を

「積木は積む」ですが、いろんな組み合わせがあるので、別のパーツに差すとか。こういうことを繰り返して、例えば、犬のような動物の形を作ることができる。商品です」と推奨する。

弟で工場長の中西功さん(39)、製造部長の福井歩さん(40)は中西専務の良き企画開発の理解者。高品質な製品を短時間で製品化するため、機械化は欠かせない。他社ブランド製品を製造する「OEM」の特注品、依頼品も増えてきている。

まち針入れの特注品、包丁メーカーからのさやの依頼品など、基本的には共同で開発の方法をとる。コスト削減やデザインの提案を積極的に行うことで、取引先から信頼され、事業の幅



食洗機対応の松のまな板

を広がってきた。

依頼品、特注品の注文に続いて、海外での販売を視野に置く。ドイツ・フランクフルトで毎年2月に開催されている世界最大級の国際消費財見本市「Ambiente(アンビエンテ)」に、ブランド名を「TEUD(テウド)」と冠した美しい松の柱目を使った商品を出品、世界の市場で販売している。

「新しい松の積み木」製品の開発は、「南都銀行・ビジネスプラン事業化支援プロジェクト・サクセスロード」でアイデア賞も受賞した。世界展開したいのが同商品。中西専務は「この商品はシンブルなHとUとIという形だけの商品。ふつうは積木は積む」ですが、いろんな組み合わせがあるので、別のパーツに差すとか。こういうことを繰り返して、例えば、犬のような動物の形を作ることができる。商品です」と推奨する。

その上で「松は軽くて軟らかく、投げてもたたいても当たっても痛くない。ゼロ歳児から各年代で違う遊びができます。教育の世界で積み木は、子どもがより能動的に学習するための指導方法である、アクティブラーニングのもとになる遊びです」と、幼児教育の場

ダイワ産業株式会社
○創業=昭和45(1970)年
○代表取締役社長=中西正幸
○従業員=35人(パート含む)
○資本金=1000万円
○事業内容=国産材による木製品製造販売
○本社住所=高市郡高取町市尾897の1
○電話番号=0744(52)2926
○ファクス=0744(52)4487



本社工場内

どを調整中。7月の発売を目指す中西専務。

「松は海外にない日本の固有種。香りが良く木目がきれいで、特にヨーロッパはやっぱり木製玩具の本場で、すぐ木の評価が高い。今、日本にある木製玩具は、全部ヨーロッパ製です。大きい企業もたくさんあります。そういうところを持っている力はあると思います」と力が入る。

16ピース(HとUが各6個、Iが4本)のワンセットで発売を予定。価格は約5000円(税込み)を想定している。「基本的には自社工場で材料から最終製品までつくるようにしています。価値のあるオリジナル製品を生み出していきたいです。僕らがやることが、そのままSDGsに重なっている部分かなと思っています」と締めくくった。



<http://daiwa70.com/>